

業績リスト(過去3年)

* (1. 著書	2. 論文)	3. 訳書	4. 研究ノート	5. 書評
6. 調査報告書	7. その他文筆活動	8. 作品発表	9. 学会発表	10. 講義・講演
11. テレビ・ラジオ等出演	12. 公的活動	13. 研究助成採択	14. その他	

* (1. 著書 2. 論文)は別途掲載

奥村 裕 (おくむら ゆう) [理学療法学科 准教授]

2022年

3. 訳書

- ・Judith Aston(原著)/武田功, 弓岡光徳(監訳), 奥村裕(共訳). 「ASTON 姿勢評価法 身体パターンを評価するための新しいパラダイム」医歯薬出版株式会社. 2022

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
奥村 裕	科学研究費 基盤研究(C)	関節リウマチ由来滑膜細胞のメカニカルストレス受容メカニズムの解明	R2～R4	416	浅田啓嗣(鈴鹿医療科学大学) 高木 都(奈良県立医科大学)
		概 要 (薫英研究費・無)			
		本研究では、関節リウマチ由来ヒト滑膜細胞と正常ヒト滑膜細胞に対して、関節にかかる代表的な負荷の力学的刺激を加えた際の細胞内シグナル伝達経路を比較検討することによって、【関節リウマチ由来滑膜細胞のメカニカルストレス受容メカニズム】を解明することを目的とする。			

2021年

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
奥村 裕	科学研究費 基盤研究(C)	関節リウマチ由来滑膜細胞のメカニカルストレス受容メカニズムの解明	R2～R4	416	浅田啓嗣(鈴鹿医療科学大学) 高木 都(奈良県立医科大学)
		概 要			
		本研究では、関節リウマチ由来ヒト滑膜細胞と正常ヒト滑膜細胞に対して、関節にかかる代表的な負荷の力学的刺激を加えた際の細胞内シグナル伝達経路を比較検討することによって、【関節リウマチ由来滑膜細胞のメカニカルストレス受容メカニズム】を解明することを目的とする。			

2020年

3. 訳書

- ・ジョン・ギボンズ(原著)/弓岡光徳(監訳), 奥村裕(翻訳). 「マッスルエナジーテック－全身の筋肉に適応できるホールドリラックスアプローチ」. 株式会社ガイアブックス. 2020.

9. 学会発表

- ・Yu Okumura, Keiji Asada, Miyako Takaki: Effects of calcium-release activated calcium channel on signal transduction of mechanical stimulation to mouse synovial cells cultured in medium containing IL-6. J Physiol Sci 70. 2P-170. Held in the Journal. Mar.2020
- ・廣瀬浩昭, 玉田良樹, 弓岡まみ, 岡山裕美, 山野薫, 奥壽郎, 奥村裕, 金澤佑治, 武田功. 地域在住高齢者における運動頻度と健康関連QOLおよび運動機能との関係. 第7回日本予防理学療法学会大会. 予防学会セレクションLive (予セ-1), 179, Web開催. 2020年9月27日

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者（含他所属）
奥村 裕	科学研究費 基盤研究(C)	関節リウマチ由来滑膜細胞のメカニカルストレス受容メカニズムの解明	R 2 ～R 4	416	浅田啓嗣(鈴鹿医療科学大学) 高木 都(奈良県立医科大学)
	概 要				
	本研究では、関節リウマチ由来ヒト滑膜細胞と正常ヒト滑膜細胞に対して、関節にかかる代表的な負荷の力学的刺激を加えた際の細胞内シグナル伝達経路を比較検討することによって、【関節リウマチ由来滑膜細胞のメカニカルストレス受容メカニズム】を解明することを目的とする。				